育賞
一教育
紹介
ペスタロッチ
受賞者

部 教授：俊朗（トシロウ）氏

北陸学院大学 人間総合学（カナモリ）

金森 昭和21年石川県う）氏は教育学部を卒業金沢大学、石川県内の八の38年間陸学院大学の教在は、北る若者に氏の志ろうとず・執筆活動を通師になに、講演育の希望を語りとともひとに教「いのちの教育」級」とも級を一年にわた氏の学いのハッピーク「涙と笑視聴者に感動を多くのした。また、妊を受賞触れる教育」は、「本物にちの教科書』で『いのい評価を得ていて高にわたる地道な教育を良くした教育実践にあり、き動かされた教たものでいに突である。上から生き抜く子ど教えられ、とも日々に心を同じくする参観者全国から取り組故で亡くし、さ授業」は殺と事故で一命を取りのちの授業」は交通事自らもて「い氏にとっ

金森俊朗（かなもりとしろう）氏は昭和21年石川県に生まれた。昭和44年に教育学部を卒業平成19年に退職するまで金沢大学、石川県内の八の公立小学校に勤めた。現在は、北陸学院大学の教授として、これから教師になる若者に氏の志すべく教鞭を執るとともに、講演・執筆活動を通て、教育に関わるすべての人に教育の希望を語りけている。

金森氏の教育実践は「金森学級」とも「いのちの教育」呼ばれ広く知られている。氏の学級を一年にわた「金森学級」とも「いのちの教育」呼ばれ広く知られている。氏の学級を一年にわた「金森学級」とも「いのちの教育」呼ばれ広く知られている。氏の学級を一年にわた

材したNHKスペシャルは多くのした。また、妊スペシャル「命の授業」は、「本物にを受賞触れる教育」は、ス－４年１組　命の授業」「本物にちの教科書』で、2003年日本賞グランプに招く『いのい評価を得ていて高末期癌患者を教室「性の教育・死の教育」にわたる地道なされ、命の教育のモデルとして高

うした金森氏の教育実践にあり、き動かされた教経験に裏打ちされたものでいに突である。上から子どもを善くしたいとの願いたものを生き抜く子ど士の研究会において磨かれ日々に教えられ、とも策ではなく、まず、目の前たちに心を同じくするちがいる。そうした子どもが、関が訪れる学級をんだ経験と工夫の積み重ね参観者に受けとめられ、全国から取り組故で亡くし、さっていったのである。授業」は殺と事故で一命を取り森氏が「いのちの交通事のちの授業」はいくつかある。教え子を自ら幼いわが子を失いた経験が重なる。氏にとって「い

たので…切実な願いとして始まっ…は大事

子どもたちに「いのち…分かっ…つめ…解決にならない。頭で…が、ス…別の子と比べられ、勉強れ、追…きないダメな子だと叱られ…がある。表面的には明るい…は少な…心を閉ざしている子ども…拠り所…感し、これからの人生の…間が奪…会えるような子どもの時…イルは…教師が教えるというスタ…について…体験のなかから、いのち…雨と風…る。教室を出て、自然の…に直面…からだをぶつけ合う。死…の姿に…ぎりぎり問うているひと…食物と…の死体の観察から、土とられて…ぶ。こうした学習に支え…失った…ちに秘めていた、家族を…り始め…きない辛さを友の前で語…支え合…友に心をひらき、共感しだして…かに自尊心や希望を見い…される

昨今、学校教育は批判…育にも…実践は、そうした学校教…その…ことを示してくれている…励ま…に向き合う多くの教師がもに希…た。そして、教育は子ど…のメッ…くてはならないという…られ姓…教育」として広く受け入…どもの生…

ペスタロッチーは、子もが具…教え込みではなく、子ど…らない…近」な関係から教育は始…た。…「生活が陶冶する」と言…にして…から出発することを大切…ロッチ…この教育の原理をペス…氏の長…あったと言えるだろう。

…も、彼らには、…ピアノがで…れている現実…ても、孤独に…自らの生を実…原風景」と出…る。金森氏は、…子ども自身の…きっかけを探…で感じ、友と…ことの意味を…腐敗する動物…つながりを学…たちは心のう…自己を肯定で…とき学級は、…り、自分のな…なる。

…い。金森氏の…可能性のある…育現実に真摯…づけられてき…らすものでな…は、「いのちの…関係な知識の…きている「身…ないと考え、…子どもの生活…氏の実践は、…有するもので…に対し、第19…顕彰したい。

…る。…よ」と話すだけでは